んが、十一月一杯に必要な機備機態とし懇談的に自由評議を行

備一切についてはず二月北京にお

日本は一方において外部

|黒||真|||【上】朝鮮神宮に於る官民合同奉

龍式【下】總督府の祝賀式

共大會を開催 南京會議第一日で決定

日は午前に引報き生後も「て蹬踹することなし次いで「日前翌」場合次員会廃棄「することしての場合の方法に担っ

十十日 茲に明治節を理へ

下が住して御扉を聞き神饌幣この朝餐所では三條学典長以 御恒例による曹朝殿の御盛宴 は時間に置ぐさせられ御取止

明治節祭の御儀行は 座に御器追仰拜ありせられた の御東帯も碑々しく内峡の御陛下には午前す時黄檀染御袍 く親嗣を奏し奉つたが、天皇

皇陛下御親拜

せらる 政にも御礼拜、 て何依を終へさせられた。こ

眞の戦ひは今始まる

がの整備建設に邁進

時頃には狭父宮司起補殿下 愧を受けさせられ又午前十一

れば魔鬼者の中央直聴路機関は条 部版西省特州に移跡した 梧州に移轉 **廣東省機關**

年の住がが後に出取の減を以て接続務により二個面の推進と載す(漢ロ二日同盟) 昨年七月日文郎

意氣益々旺盛

作職に備へ進駅の意刻経々隊は府々整備を完了しつつ

解と認識を要望したが、放送内容左の如し【寫真――放送する近衞首相】一般衙し、帝國の向ふ所を國民に傳へ征戰の目的達成のため時局に處する國民の深き理《東京電話』近衞首相は三日午前九時十分よりAKのマイクを通じて政府聲明の內容を

高潮したのであります。この曜」のます。日本と東洋人としての一本陶民の感激は地類なきまでに、して支那との協力にあるのであ

を通じ近衛首相ける聲明を敷行 東亞の 使命遂行のたしめ更生 支那をして 樂の士は 支那をして

支那における 先憂後!

漢口居留民團 復歸を開始

を行った 三唱してのも朝鮮神宮に自力

壽ぐけふの明治節

拜賀式

普詢を齊唱したのも英雄を三唱し種、関歌合唱について単國祖氏の

成を悪へ、當日午前丁時中村建司明治大帝の御屋傅と追望しなる佳

室において在現在内部が駅が入り、この日の神管後継者は、各技術館のまたが、上り先午前十時に下分から本佐第一 行され、終いて頭に短線状たに対り、対路線で破かに執行された。これ ガニれに関いて頭に左郷状人た場が路域のでは、その日の神管後継者は、各技術館を開発する。 一次日の神管後継者は、各技術館を開発する。 一次日の神管後継者は、各技術館を開いませ

中外に闡明し、近初首相又マイ

して国式の元を行り開発で給酒を酌べ交は

各局の祝賀式

響行、式後到望において一回観杯「國歌台唱の後御庭歌な糸拜、総つ

非省3階級、雄井、連議長の合同 税式は三月年前十一時朝館前宮大生電車)の二回に分けサイレンを合同に美 「沢 JJL 内」 孝二形 コ

北いて山田局長以下在線各域信局が、北いて山田局長以下在線各域信息

拜賀式

風光解しての切べたとは強と

知事、佐伯京城府尹その他官民命司令官、大野政務機區、甘蔗京都道

んの であります 遊進しなければ なら て内外の 整備建設に に偉大なる 歴史的 「眞の戦ひは今始ま

專賣局辭令

在感受局副事務官、疾高差官主要 京城地方寒受局市孤安命宇 京城地方寒

當局際高州人系統長を命ず

天地玄黄

の御宏謀、今やこゝに戦我せん器く我が手中に歸う。明治で帝 全支那政治組織文化の主要都市

稲楽雅之助が叙術の標古の語り

対しては西域の対応り似能手格

競粉一六10C浦市七五○C 社相等に成は優勝病兵権間に忙し去る二十一日入城以来各の赤十字 「のぞふ」で在城官民多数の 徳川が順公退城

子だちは…

の激べ



氣に襲はれが
あなものです

足りない事に原因します。呼ばれる貴重な榮養素が呼ばれる貴重な榮養素がその多くは目常の食物中

がなくなり、いろり

遅れ、體格が弱々しく元氣で、榮養の低下から發育が一滋養分が思ふやらに攝れ





を矯正し、延いては病氣がいいかいお子さまの偏食癖

に食欲を消起させること 働きを早く恢復し、自然 を與へて、弛んだ胃腸の ん濃厚に含むエビオス錠 つまい しこの成分を一ば

に對する抵抗力を强める

学博士監製 大阪市東區通信町三丁目株式春和田邊五兵衛商水区市東市日本田區大町二丁目株式春和田邊五兵衛商・サンステモ・ナンステモ・カー・ステモの大田・東京株式會に

E B661

五少尉お揃ひで昇進

土谷保彦新中尉の陣中便り



この主義を奏

野田發油檢式會批問貸出班明













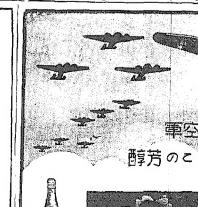












栗空我す壓を敵 醇芳のとす壓を釈酒

 「現在・中間のお百姓金書成でんも、智な振興を行った。たど有職と職」によっめられるのだ。 三月の明治師「かつきり焼酎を扱いはないも除立」の氏章の思いは、此の瞬间か一つ。三日の明治師「ないと関連が、で消化であた。」 三日の明治師「かつきり焼酎を扱いはないも除立」の氏章の思いは、此の瞬间か一つ。三日の明治師「ないと関連が、で消化ではから金字為に置められた「表現論」なくとも時間に扱いはないも関連のに関することであた。 三日の明治師「ないた」にはい様方大者のましまであた。 三日の明治師が、で消化ではから本質の思いました。 三日の明治師「ないた」といる。 これをいる。 これ の數年來は

階 五階 六

郷料しませう」と問者は妻の子夫「子夫人に敬虔な画様ちで眺かに母かった、わしも家内と一緒に真様な「喫茶の分祭、獣獣をさくげ、妻久、曹に真母を巡探することになった」でながら、物質に頑大なる視線に

軍司令官夫妻の遙拜

光爽かに浴び 「誠の希拝ける他十里にて写真。真説明 及村にも

ふ『皇居遙拜』の第

党城公立青年訓練所では六日午前

林式會記

明治節拜賀式

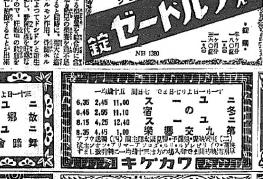
百萬長者を訴ふ

と人婦



第三回 七、00 第三回 七、00







Į M から別問を採物が強し好から別問を接物があります。 加まで静けて限めば、産 加まで静けて限めば、産 っもよく、良いお光別豊 っをよく、良いお光別豊

補血劑を用ひよつはりの頃から

が出れ、主た徹後はお乳つたりの時間を超したりている。ではなったいのはなったいののはかののではなったいののはある。 はいればいることができないのは、一般ないのできない。 はればないが、それには多人があがって、それには多人があがって、それには多人があがって、それには多人があがって、それには多人があがって、それには多人があがって、それには多人があがって、それには多人があがって、それには多人がありません。

剪月 驟

题。**座企**黄 游野 2000 月 | 172 | 172 | 172 | 172 | 172 | 172 | 172 | 172 | 172 | 172 | 172 | 172 | 172 | 172 | 172 | 172 | 172 | 172 | 172 | 172 | 172 | 172 | 172 | 172 | 172 | 172 | 172 | 172 | 172 | 172 | 172 | 172 | 172 | 172 | 172 | 172 | 172 | 172 | 172 | 172 | 172 | 172 | 172 | 172 | 172 | 172 | 172 | 172 | 172 | 172 | 172 | 172 | 172 | 172 | 172 | 172 | 172 | 172 | 172 | 172 | 172 | 172 | 172 | 172 | 172 | 172 | 172 | 172 | 172 | 172 | 172 | 172 | 172 | 172 | 172 | 172 | 172 | 172 | 172 | 172 | 172 | 172 | 172 | 172 | 172 | 172 | 172 | 172 | 172 | 172 | 172 | 172 | 172 | 172 | 172 | 172 | 172 | 172 | 172 | 172 | 172 | 172 | 172 | 172 | 172 | 172 | 172 | 172 | 172 | 172 | 172 | 172 | 172 | 172 | 172 | 172 | 172 | 172 | 172 | 172 | 172 | 172 | 172 | 172 | 172 | 172 | 172 | 172 | 172 | 172 | 172 | 172 | 172 | 172 | 172 | 172 | 172 | 172 | 172 | 172 | 172 | 172 | 172 | 172 | 172 | 172 | 172 | 172 | 172 | 172 | 172 | 172 | 172 | 172 | 172 | 172 | 172 | 172 | 172 | 172 | 172 | 172 | 172 | 172 | 172 | 172 | 172 | 172 | 172 | 172 | 172 | 172 | 172 | 172 | 172 | 172 | 172 | 172 | 172 | 172 | 172 | 172 | 172 | 172 | 172 | 172 | 172 | 172 | 172 | 172 | 172 | 172 | 172 | 172 | 172 | 172 | 172 | 172 | 172 | 172 | 172 | 172 | 172 | 172 | 172 | 172 | 172 | 172 | 172 | 172 | 172 | 172 | 172 | 172 | 172 | 172 | 172 | 172 | 172 | 172 | 172 | 172 | 172 | 172 | 172 | 172 | 172 | 172 | 172 | 172 | 172 | 172 | 172 | 172 | 172 | 172 | 172 | 172 | 172 | 172 | 172 | 172 | 172 | 172 | 172 | 172 | 172 | 172 | 172 | 172 | 172 | 172 | 172 | 172 | 172 | 172 | 172 | 172 | 172 | 172 | 172 | 172 | 172 | 172 | 172 | 172 | 172 | 172 | 172 | 172 | 172 | 172 | 172 | 172 | 172 | 172 | 172 | 172 | 172 | 172 | 172 | 172 | 172 | 172 | 172 | 172 | 172 | 172 | 172 | 172 | 172 | 172 | 172 | 172 | 172 | 172 | 172 | 172 | 172 | 172 | 172 | 172 | 172 | 172 | 172 | 172 | 172 | 172 | 172 | 172 | 172 | 172 | 172 | 172 | 172 | 172 | 172 | 172 | 172 | 172 | 172 | 172 | 172 | 172 | 172 | 172 | 172 | 172 | 172 | 172 | 172 | 172 | 172 | 172 | 172 | 172 | 172 | 172 | 172 | 172 | 17

E DE E

強見

妊婦の責務

らかめ始の転延 てけかに期乳費

清

仁川支店回漕部

れからお扱きんとなる方 にキオブルトー 支配を服 によさはしい弱い立 の人を傾けて下さい。

京 獲 行 京 獲 行

人邱秋競馬の成績

際列車の開通が最大原因

釜山卸市場宛ら戦場

四日午後七時半から

書.....中南支方面戦况特録コ

医療三分類人類科企工 (大枝科) (大枝科)

としてしか見てないやうだ。キャストはハルピンをパノラマの一的にらにしく思つた。大坂のツーリ

獲逸人の歌笛の挪助でやつてぬた

五分おくれだが、外海映画に出て れていった。踊子の一人が遅弱だ

聞くところに依ると、ハルビン・

先年まで、ある

あり負俗のある演奏に提して非常で新聞にり足りたいが、何はとも るとに知らたかった。メスパーこ

カの鷲四亜パレーの試賞登に呼ば

ると云ふ。言葉は解らないが面白

一人として、ハルビンの音様や藝

ジングの仕事で、潜太人俱樂部の

その日の午後、Kさんのマネー

プニン、チャイコフスキー、グラ

ア作気の作品で占められ、チエレ ピンの日本人自身が脳心を持たず | や脛へでいろく〜舞頭を変はした・サムフす ニーのプロは 皆ロシ | つた。故行者のみではない・ハル | 店で、担郷者シワイコフスキー氏

にゆるのだと思るの数は出ってき

が、とりたて、強くほどのことはなかった。

ソでこんに素暗しい交響薬が続け、一人として、ハルビンの計樂や藝つた。私しいはごしだが、ハルビ・多の文章が進つで見てゐるが、鑑だノーブ帯で、使々たる漢源でゐ「てから、賦分ハルビンに聞きを譯えノーブ帯で、使々たる漢源でゐ」てから、賦分ハルビンに聞きを譯

凹の時には詳細に主城を調べて居 じみ思ったことでした。

S層域を築造され、四ケ年間も屯 聞いて、なぜこの事質が今度さ 当山に近い金海の竹島に利日本式 れなかったのです。第二回にも 能の者は高びを駆せずには居

相原を始め間器が傾けたといふ

たといっことをきいて質に書 常に加藤山正公と同行してを その行動が常に正々堂々であ

王必然といふプロネースで監督し、あ八十年位のでせらか最初です。これは高橋といふ人が「フトとトーキー会ぜて現在きでき

製作開始は

ことは西在្総株関橋としたもので「所であり、寿名」「神治補門もこの」されもしたのですが、館業歴代の「では常和育用とり趣」で姿勢道した が確本ともなり、決々に色々出版」つたに租準制度いません。南南原建いました。この北島先生の著書。原といふのもその南原の人造であ 半島映畵を語るの

であいらと強へられまする

て関かされたその時の織しさは「初に並従襲銃のえらいのに燃むし」るものが隔に少いし、その上での「地をして居とのがあるのです。佐来の蹶蛇になかつた事補を始」は鑑してかられるといっことは、「衆霊的な人物が多く、赤古文献な「南原の遺憾菌を基やとよく似た器 して居たといふことは、質に競技で研究家に切らずして関つて養表のでありまして、それを今が今ま 平の古文観で選井京の古文観、或大健語前に開歴史に昔から李三 行動されて居られるといふことは、と、言ははければなりません。「 渡来して来た朝鮮の陶工を保護後でせらが、陶器が用来た腕のみを く判らなかったのも無理のないと 観点歌では多久家に命じて特別にの多久会が用来た人であつたから りであつたので、真実のことはよ しい者とされ處様されて居たのにてけていた次章です。多分家港議)交戦を後世に再想されたものばか 「 登時朝鮮では網第者は非常に修 に對しても中間ないことを整へら を持つて居られたからに遊ひない 始めから非常に問器に就いて関心 しました次第です。多分家港職/文献、支依世に再記されたものばか/ に、なせ是球利何の晩中日誌その銘的だものでないのがよく判るの かったか、本質に複数なことで 他のことで問題失家がとり入れな を調査して居たならば、決して過 史があるわけはたく、その開楽組 たの朝鮮か知りずして有田の網路 然し朝鮮に於ける戦島公の行動 | 過され、遂に有田の泉山に挙三平

實定りとして、外の實際的の觀察!たいが、机の上で古女献のみを賞

れるので神座います。

たのでせらか。私は歴史家では

っか。肥何の階級更を破壊しようこのことが知られずに居たのでせ

一何とう言へない有難い叙持ち

朝鮮の古陶磁ミ

鍋島藩の朝鮮滯在七ケ年日

大学のでは、大学のでは、 大学のでは、 大学のでは、

家を訪れたのである。

そこで、ある耳頭日に、彼の

つた。
では納着のため、早く聞るのだ 彼は、彼の考案になる「人三の仕事もさせてゐるんだから」

右衛門(久松玉姥)発生造(柞) 研育領(遠山龍之功)近江経庄 子) 而師堂者(松村光夫) 爾蓉

と11つの傾向があったと思いま

て文藝的には内地の文語の形

5.得三郎) 娘お久美(松風千枝

際は受けてあるす

【李郎用】 さう、非守といふ人が

□─大都秋の超大作 三天下の副曲大倉で初口演したものである け雲月が歌舞伎座・明治鹿の浪で映畵化すること。なった同常

だった。

居る彼が、オモニーを取ってる

いつも生活の苦しさむ

いや、僕の家ではオモ

双山正導席者で新形式をもつ「祖國の花嫁」を駒山磯脚色「紅屋」を駒山磯脚色版として天中軒雲月日後によびとして天中軒雲月日後により多齢川で は退出 映路の決

とは述へられるが、母親のあることはがあるから、子供のあることは の子をつれてゐる数と含ったと

と、また細君を指さした

これたよ だや、オモニーは 子供の母だと

は、いつもサラサと関って仕

いつかの祭日に、十二三の女

不明で只事一株及び歌遊派博一統中島もれて企業とした際工でも外に歌 しては金ケ江及保施を始め料品と 焼かれるやうになったので御里いして日本にも始めて純白な磁器が が提挙なる陶磁器の原料山を襲見(日本館化名金ケ江三兵衛)なる人 りずした物磁器工業の元配となっ 帰用をなし世界に罰を増へるに至 の人であり、年間何干放政心海外 たので仰座いまし まして、陶朝李三本氏は徴に朝鮮 來遅を嗅ざれてゐたがいよく十の重徴たる矢野橋村備伯はかねて 現大阪美術學校長として日本福地 多年前段、新文展の春春日間を任 一月六日頃來娘するとになったが 砕されてゐた左の諸氏大野政務かねと 一同職伯の徳風職技に心

つの投一年十年八月1十年で、1

番初めのものは尹自藩が遞信局のした。これよりも謝朝鮮映盛の一 省した朝鮮人事生な扱った物品で かりでカメラはバルボを使用しま にて揮毫の御務めに選ず席上揮毫を行ひ、食具には無料

佐殿で作った宣原映画「月下の智 出席者 岩崎親へ会開

悲幽」を壁香した西橋といぶ人は

【金飾】彼は日活で勉強した文科

記画 では先の類様映画の概史 日で(実施) 下地には自治家に栽切 | 本以上のりましたから | で放いてのはどんな人たちです | 数になりました。 内地の映画に到れていていて)の | 規模の | 現代 | では、 | のましたから | では、 | のませせら | では、 | のませせら | では、 | では が金を出したのです

十百、發行所京變太平通一、朝鮮知明保部進溢縣、價五十錢、百二 鮮の前途は洋々、都市問題官議官の経済対策に握切等を取られている。 城總寶 其他軍界展望、李利斯軍 の新門の一個などである中のの新門の一個本商工限及り及び新門の一個本商工限及り及び

direction of the second

スホーニンが軽率を發き、スラビ ので、大したものではなかったが 式」だった。アマチュア際間のも ヤンスキー作曲の『ロシアの結婚』究育主催のオペレッタで、スラビ その夜は、鱗近クラブへまた行 哈爾密部近都ロシア藝術配 ルの機都になれざらな徴候を呈来 ソの模型はいままさにオリエント たスケチュールのお配で、全く まさん、ひさんなどの金でしく オルガンの鉄部が耳るとで探へて った。いまでもその解説なべ で聞いたミサは印象歌いものであ てゐる。たいし樂城そのものよる きれた有益な被であった。ハルロ かるやられる ハルピンを酸つ朝、ロシア寺院 備か三日間の滞在ではあったが

それは消刑機に起罪が取びして殴 カニズムが整固になればである。

その他、オペラ「カルメン」全 ベラ『カルメン』の出演者』 夢観さより

G S

映畵ニュース ても、彼は 人三役

あり、子もあればす には母もあれて渡る 「馬鹿をいふた。家 どこへ謎はるとし

【こゝにふるぢやないか】 一人ほさんは何らした。在に

その細指が指した。

・モニーらしい女も見えなかつ

のは見えたが、母親らしい人もすると、細君と子供とがゐと

画地。る創、を観、と関でしとなる。活

く强力。着。吸。掃。清

代時ンガイラく全は磨齒や今

矢野畵伯記念畵會 かく京城で開催 箱寄行傷一項複共金三二十五(乙)紙本半折(活卸し)一百五十四

内地の人の功能で、朝鮮ではずつといふものを作らせたのはたしか

そのことより企業として朝鮮映成 握を受けたのもあります、ければ 朝鮮化した「冠の心」をつくつた

ともあるくらるで無論内地の時

ち

既傳兵衛 (滑水明)

たけこの規定以外左配排砲の割と が戻れ首人・対域へ同尺人機や 二百四向尺五三百五十四へ同二 尺二百五十四両尺入五百四へ同一 ようとした人はむすせんでした と後まで企業として映場に投資し 進出の功績 內地企業家

原を食のすることだとして非常に 「記者」先日もからいふ話が説明

しての儒教思想の現はれだらら これはおしなべて襲ごと一般に對 「金林」内地の企選家が投資を始

| 軍が用] 一概にさらはいへない

はなかつたと思ふ 能師けのためで狭して真心的た変

「異略】王必然とかの名で 「流の

SUPERIOR

ے

の音樂

は佐賀の鉄島家の内原状の古文観、景名ので毎座います。 全権問題の南原が一番早く白い

か召用姓等大坂古い家は朝鮮人系

位なものでして。それを土部とし

15題人でもなく、親切な先生たと

着しといっ不か数表されたので毎

加藤光生は全く朝鮮の生学引と来た人間の一人であるのです。 言言へるえらい人であると、

本質に真の強い、愚者に有り思う」といふ人か一番早く「日本財産史」鑑にカオリンが産肉するからであてお食が出来た感じといふものは」て明治時代に有田の人でおみ似水「杮碁の棒げご居えのも荷集から立

高圖製力多

ンドン特電【三日發】英常局は日本の密明は抽象的に過ぎ近ちに批判するわけに行かぬが、日本が今後如何なる態度を どの程度尊重するか は明かだが、今後も國 民政府はゲリラ政権を止めず日本の政策総行を妨害するであらう。日本は同民政府が親目的反 本が第三國際益を 米雨図の態度 一路と望る顔であらう、更に日本は九ヶ國体約の職業はしないが、

かく敬も大切で注目すべきであるとしてふる、日本が今後誤形政府を一地方政権と見做し新 政府を支持、高敏地域の復興総 飛邊風がく敬も大切で注目すべきであるとしてふる、日本が今後誤形政府を一地方政権と見做し新 政府を支持、高敏地域の復興総 飛邊風 の協力

序の建設に来り愛するに於いては敢てよれを拒否するものに非す』とある點を重視しる事事型の教务事意になれてはなど、日本の歴明中、國民政府と雖も従来の指導政策を一擲し新國家群のため支那と議門隊と包密する権所プロックや特殊世界の國家資からんとしてあるとの感を導くしてある、『然日日十**ク特電【二日發**】近位自由の解析に對してメリカでは一般に日本は特界に實施をの他設を顛扈してあるものであ

必ずし

も担否せず

| 登|| 帝國政府の安那部型に封す | についてに申人に封うて回答を得 | ワシントン特電 【二日 | してゐるので、日本の今回の定言

| 部域の勇士道である、壯敏、張雄。 もって應へつ、司令部資素に入って始め、一角澳入で勇者離く松崎、遭ば利って勇士造にも原学の敵をするのに疑し一番乗りの○○部は、真から自動車を連れて魔境路を行する。

袓

國民よ牢固たれ

對しアメリカ政府は不た沈默を守

皇太子殿下

【東京電話】 泉太子殿下に

漢口に第一歩を印す 明治の佳節に際して

けには行かれ」と語ってゐる、尤一には茂多の困難が強想で

知しないが、その場合これが的腿辺の如き手段が執られる

及川司令長官

関の整盤を促し、この心臓を 洋々たるものがある。 が行はる、ことは、池田萩和 入とのであるが、崩迫は河に

脳段階が張かれたる金機とは 政府が一地万政権に御籍し

近くの後が表明は向に力強き 明し、低度空極の目的を勇能 は、質によく帝国の貞能を勇

近的首相は、支那を軍機の

供。チェ間の紛爭

共和党に関し功能観者なる有田外「東京電話」長き返りでは日復修 に叙勲並に賜杯

観樂は國米

ガリー、チェッコ树境粉単はこ ウイン二目所盟 月倫に近りへ

囲滿に解決

獨伊護停案受証にも造に関

帝國

穀贈一等授旭日大校

に題外の師的はかあった、内主な「授旭日東光霖(各通) 相以下亢士一名に對し二日教職故 特命全權大使、東海

列强の認識是正こそ先決

て以外に方式のない事は充分協議。就ではその本米の数である総説的「すべきである。この賦守四級府に盆の網書に日本の政治的認力によ「約の門月開放練り均等等の原則に「答言とものでない事を列強し議職である。この賦イギリスの在支稽「である常河政府としてはルケ河版」故主義は常興の根本方針と絶対程である。この賦イギリスの在支稽「である常河政府としてはルケ河版」故主義は常興の根本方針と絶対程

反共・倒蔣を實行せずば

和平また顯現せず

なしとの針目申入れな想起うべき

『境別三日回盟』三日維制政府行政院政党において開催された軍官被表式において盟司委員会委員長主党組氏の朗讃した反

誓つて救國の道を實践せん

飼支院の中傷部たる機構長官並に

上流嘉魚を完全占領

島 包 望

証券部 京城黄金町

虎

加州北部

(珠江支流)

更に合理的に强化

新物館計量は対松第一次計量を引

他重要物の数量以上にこれを要在相對に必要とするものあり、現 の遂行に必要だ各種資材なども日籍支一権の生産力権充計引

以及物質抑度に関する現行語統領

生での新物資助員計戦に基づき

米價先高見越し 満給に 萬全策

(地方所人の思なにより



〇國民精神作與週間

〇廣東漢口攻略戰 一體風景、大阪町會の活動 饗成所、工場町の見置たち、 工場に見る勞資

蕒 *

發

内内閣閣 印俏 別報 局部 設調行興

る非路かとり成業をないでしる。 池田 二方針を明確にす

は議論の餘地が残されてゐる。説解を考慮しこの點についてた

望

時經濟時局間答特所號

題る政策、將來の物資對策等に付三十餘項目に 亘 め、物資動員、貿易振興の問題、更に体失業者を **膚冰の見透しはどうか、斯る現下の中心問題を始**

身解り易く一間一答を試みたもの

第一部總論篇

第二部 物價對策篇

第三部

轉業對策篇

〇漢口攻略の意義と 〇武漢遂に陥落す

軍作戰の囘

顧

的地方路长神生繁雄、本好· の三氏本社來訪 柳生、野世溪、林

行發回曜水

1885a

京國

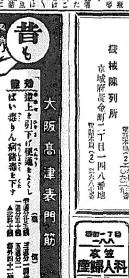
作興週間、殘敵の發動を排して新東亞の建 復活動の一班を扱つたもの――東京機械工 **設に遊進すべき重任を負つた我等國民の銃** 時恰も武漢の攻略成るの時迎へる國民精神

〇海の彼 〇讀者のカメラ

定價十錢



共産軍あの手この



病諸毒を下す 会計・銀 着が日土 領人の ままくし (1925年 1925年 19 で賣れる

*・九二七南電・三七九阪替振

に上げて回るのうかもまた。 の上げて回るののあります。 の大が開発しているのであります。 一変内構築ります。 一変内構築ります。 **着工業所** 有望 一月十五年 一月十五年 一月十五年 一月十五年 一月十五年 一月十五年 一月十五年 一月二日 一月二日 一月十五年 一月二日 泉名の効料置滑

皮膚性病科 淡尿性病科 電本894

國樂の適快易安 電井神

賞入賞等優 宗正松若

會評品類酒鮮全 會評品類酒鮮全 賞入賞等優

肥料株式會社

國報櫻 邱 大

圏ノ将捕虜攻幌の左記者

邟

場造酒松若 場造酒居棟 助 誠 林 若

曾

0

(新品)

大阪明星美智主成成市長谷川町ホテル前に来

八时,

ŋ

明治生命京城支店

量学問丁 衣笠 競

8×5912

女店員採用 在安社会营销建度以上有安社会营销进度服务的 17日(平均愈),就要除了17日(平均愈),就要除了17日(平均愈)。

(2)法治海 社機械部

伊藤長兵衛

(以近せる開始が一線に着っとして強動

時局下の三中井

並に發信を嫌据するなど問題。

六一本第十二 十十二

止に國策的瓦斯燈

半島發明界の一

断の確生接後に不満に続かるるが一番大切なアセチレノエ

小松氏の苦心成る

寳庫日本海に雄飛

建設され、近くはまた石炭液

に食にわいて茶面のお頭に強

愛洋丸 北湖丸

本間内は斯根様に見る英林と

点がある。か

ガ尹抱懐の各種計畫も

實現化いまや目睫に迫る



の都であり郎四第一の保健地とし の国際スキー場はじめ近隣を所に

ところである。こかも名壁金一力を注き観光盛度の周折、クウェー(と各種路版し、2年間の如金は全半島人士の繁新。いても観光標度元山の紹介景脈に 織へ、北江海溝、19代和5れ、郷の標園を勝利市 (石壌の中心地である、唐常局に華 東は日本海を構味があり鮭青沖一の保御地とし | スキー場あり四手を選じて元山は | の優が新川彦上は

産佐々木王國

線へ、北は海洋、箱港を超て油泉東は日本海を横断して収費、新

佐々木準三郎氏は他面また半島保護如たる面目を調はれてゐる店主

左黨の寵愛を一身に

醸造事業にも遊進

の埠頭(中)元山の魚市場(東)頭説明(上)元山港









ない無質を敬愛されて心る 飢餓の観和に多大の

けであって、非常時下におけ

と全く従来品に見られな



△價格が低降なる



きこの主旨に据, 伐琛、製材、加工、敵傷工ジン

これが販賣を一手に収扱ふ

脚謎のスローガツは河東を搬亡。柳の清馬計畫を質現に移うことに、そ可能といる親たた真似が樹立さ戸日本の関策級に力量く謎を前一覧作内の関連に具直における 沼里 異に郷して太邦を国に向って帰出。 八村商店の商勢隆

九州郵船出帆廣告

総は前の重要精子を占め、今や外 強か特別し脚線うる所でいる。 職に在りその他水産単ならびに各の最重要制力にる水産工業部長の 人として押しも押されい地

殊に『日満』は大好評

治一日海」の真側は受情感の戦」: 美口同計の戦速を受けてのと、

販路ます (

本語に元山府都井道四下目に五山府都井道四下目に五山府都井道四下目に五山府都井道四下目に五山府都井道四下目に五山府都井道四下目に五山府都井道四下目に五山府が北西山府が北西山府が北西山府が北西山府が北西山府が

都元山の 施設、技術共に他を凌駕

三玉鐵工所の全貌

えところで、所ど内地一、流消に現色なしと推奨する姿が高い、 おおは一佐々木磯三郎氏

一偉觀

机、前鲜新型器、住友聚城、朝鲜

不材界の覇者

元山商工會議所

社會式株產畜山元

成南倉間電氣珠會社



.